

## 5. 競争的研究資金獲得状況

### 放射線分子疫学研究分野 (原研疫学)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
サエンコ ウラジミール・准教授	日本学術振興会	代表	国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化B) Genome-wide gene-environmental interaction analysis of exposures to radiation and nitrates as modifiers of the risk for thyroid cancer in the Chernobyl region
サエンコ ウラジミール・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 放射線誘発甲状腺癌の発症リスクを高める遺伝的素因はあるのか?
サエンコ ウラジミール・准教授	長崎大学原爆後障害医療研究所	代表	研究費 Gene-environment interactions in the internally irradiated patients with thyroid cancer from Chernobyl areas

### 国際保健医療福祉学研究分野 (原研国際)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
高村 昇・教授	環境省	代表	放射線の健康影響に係る研究調査事業 大熊町、富岡町におけるリスクコミュニケーションを通じたリスク認知、メンタルヘルスの経時的変化の評価
高村 昇・教授	日本学術振興会	代表	国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B)) チェルノブイリから福島を知る～甲状腺超音波所見の自然史
高村 昇・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究C 長崎原爆の地形遮蔽による低線量被曝に関する疫学研究
高村 昇・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究C 原子力災害被災地における復興・帰還事業に係る情報発信と情報の受け止め方の検証
高村 昇・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究C IVR介助看護師の被ばく低減に対する放射線防護教育プログラムの構築
高村 昇・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究C 原子力災害における地域の中核病院看護師への防災教育システムの構築
柏崎佑哉・助教	日本学術振興会	代表	研究活動スタート支援 不確かさ不耐性特性が放射線リスク認知とリスク受容に及ぼす影響に関する実証研究
折田真紀子・准教授	日本学術振興会	代表	研究活動スタート支援 福島第一原発事故の処理水放出に関する周辺住民の不安に関連する要因の解明

松永妃都美・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究B 放射線防護リスクコミュニケーション現任教育モデルの検証
松永妃都美・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究C 多職種連携をめざした大学院における実践的な国際看護の教育プログラムの開発研究
肖 旭・助教	日本学術振興会	代表	研究活動スタート支援 原子力災害から10年が経過した福島県内と県外住民へのリスクコミュニケーションの検討

## 放射線災害医療学研究分野（原研医療）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
光武範吏・教授	日本学術振興会	代表	国際共同研究強化(B) チェルノブイリ放射線誘発甲状腺がんの遺伝子バンク設立と分子遺伝疫学国際共同研究
光武範吏・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究(萌芽) ロングリード配列決定法による放射線被ばく刻印の同定
光武範吏・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究(萌芽) 細胞腫によって放射線被ばく刻印は異なるのか？
光武範吏・教授	環境省	代表	放射線の健康影響に係る研究調査事業 ロングリード解析を用いた放射線刻印の同定と福島小児甲状腺癌への応用
光武範吏・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	分担	難治性疾患実用化研究事業 ゲノム不安定性疾患群を中心とした希少難治性疾患の次世代マルチオミクス診断拠点構築
光武範吏・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(A) 環境ストレス応答・ゲノム修復システムの破綻により発症する疾患の病態解明
光武範吏・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 放射線誘発甲状腺癌の発症リスクを高める遺伝的素因はあるのか？
鈴木啓司・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) scRNA-Seq解析による放射線誘発ゲノム不安定性のトランスクリプトーム解析
鈴木啓司・准教授	環境省	代表	原子力災害影響調査等事業 ゲノム変異シグネチャー解析で紐解く低線量放射線の発がん寄与割合とメカニズム
鈴木啓司・准教授	環境省	代表	原子力災害影響調査等事業 メチル化シグネチャー解析による放射線の発がん寄与割合評価
鈴木啓司・准教授	長崎大学原爆後障害医療研究所	代表	研究費 組織反応を基軸とした放射線発がん初期イベントの解明
鈴木啓司・准教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	分担	難治性疾患実用化研究事業 多発性嚢胞腎に対する新規治療剤の探索

松瀬美智子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 甲状腺乳頭癌における放射線ヨウ素治療抵抗性メカニズムの解明
松瀬美智子・助教	長崎大学原爆後障害医療研究所	代表	研究費 甲状腺乳頭癌の悪性度・予後を決定する分子マーカー及び、微小癌の手術適応を推定できる分子マーカーの検索
ログノビッチ タチアナ・特任研究員	長崎大学原爆後障害医療研究所	代表	研究費 CRISPR/Cas9-mediated promoter activity tagging for detection of thyroid cancer-specific oncogene activation in single cell
河村香寿美・特任研究員	長崎大学原爆後障害医療研究所	代表	研究費 放射線照射HAP 1細胞

### 放射線生物・防護学研究分野(原研防護)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
阿部 悠・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 特定部位へのDSB誘導系を用いた染色体転座優先機構の解明
阿部 悠・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 標的ゲノム編集/系統的ノックダウンによる染色体転座頻度を増加させる因子の探索
松田尚樹・客員研究員	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 放射線教育のSTEAM化によるEBPM支援プログラムの開発
松田尚樹・客員研究員	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 福島原発作業員の放射線不安軽減を目指した教育プログラムの構築
松田尚樹・客員研究員	日本学術振興会	分担	国際共同研究強化(B) 高放射線量地域をフィールドとしたネットワーク型環境防災の実現
松田尚樹・特命教授	厚生労働省	分担	委託事業 原子爆弾の投下に伴う気象シミュレーションモデルの構築及び放射性降下物の拡散状況の分析等に関する調査研究
玉熊佑紀・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 個人の放射性物質の体内動態を反映する高精度全身計測手法の確立
玉熊佑紀・助教	放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究開発拠点	代表	若手 連続捕集型大気モニタの測定ジオメトリの最適化

## 幹細胞生物学研究分野 (原研幹細胞)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
李 桃生・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 組織幹細胞とミトコンドリア代謝の変化から低線量放射線の生体影響を捉える
李 桃生・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究(萌芽) ストレス応答に学ぶ新たな臓器再生へのエピジェネティック制御アプローチ
後藤信治・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) ミトコンドリアカルシウムに着目したがんへの新たなアプローチ
浦田芳重・特任研究員	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) がん放射線治療の耐性獲得における分子細胞機構解明と克服戦略
YAN CHEN・研究機関 研究員	日本学術振興会	代表	研究活動スタート支援 The role of mitophagy in radioresistance of cancers
李 桃生・教授	日本学術振興会	分担	基盤(B) 組織骨格を利用した再生臓器におけるハイブリッド型血管ニッチの確立と移植研究

## 人類遺伝学研究分野 (原研遺伝)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
吉浦孝一郎・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 遺伝解析から捉える運動毛機能異常に依る水頭症および認知症の病態生理
吉浦孝一郎・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 時間軸を考慮した原爆被爆者骨髄異形成症候群発症機構の解明 (代表：宮崎泰司)
吉浦孝一郎・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 自己炎症疾患の発作の周期性や炎症の多様性を規定する責任分子調節分子群の包括的同定 (代表：増本純也)
吉浦孝一郎・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 放射線誘発甲状腺発がん過程の網羅的分子病理解析：miRNAと変異シグネチャー (代表：中島正洋)
吉浦孝一郎・教授 三嶋博之・助教	日本医療研究開発機構	分担	難治性疾患実用化研究事業 全エクソームシーケンス解析でも未解決の症例検体の収集 (代表：小崎健次郎)
吉浦孝一郎・教授	日本医療研究開発機構	分担	難治性疾患実用化研究事業 精緻エピゲノム解析技術開発とIRUD未解明症例への応用 (代表：秦 健一郎)

吉浦孝一郎・教授	日本医療研究開発機構	分担	難治性疾患実用化研究事業 ATR-X症候群に対する5-アミノレブリン酸による治験 (代表: 和田敬仁)
三嶋博之・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 3次元顔貌情報による極めてまれな先天性形態異常症候群の診断補助の実現

## 血液内科学研究分野 (原研内科)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
宮崎泰司・教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等施策研究事業(難治性疾患政策研究事業))特発性造血障害に関する調査研究(研究代表者: 三谷絹子)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	代表	(革新的がん医療実用化研究事業) t(8;21)およびinv(16)陽性AYA・若年成人急性骨髄性白血病に対する微小残存病変を指標とするゲムツズマブ・オゾガマイシン治療介入の有効性と安全性を評価する研究
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) 高齢者急性骨髄性白血病の化学療法が可能な症例に対して若年成人標準化学療法の近似用量を用いる第II相臨床試験: JALSG-GML219試験(研究代表者: 山内高広)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(次世代がん医療創生研究事業) 大規模シーケンス解析に基づく、造血器腫瘍のゲノム、エピゲノムにおける、空間的・時間的多様性の研究(研究代表者: 小川誠司)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) PDX治療モデルを併用した治療抵抗性急性骨髄性白血病クローンの成立過程に生じる分子病態に基づく層別化システムの確立と標的治療薬開発に関する研究(研究代表者: 清井 仁)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) 難治性がん(白血病等)の全ゲノム配列データおよび臨床情報等の収集と解析に関する研究(研究代表者: 南谷泰仁)
今泉芳孝・准教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) 成人T細胞白血病/リンパ腫の治癒を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立: 薬事承認を目的とした第II臨相医師主導治験(研究代表者: 末廣陽子)(2022年9月まで)
加藤丈晴・助教	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) 成人T細胞白血病/リンパ腫の治癒を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立: 薬事承認を目的とした第II臨相医師主導治験(研究代表者: 末廣陽子)(2022年10月から)
糸永英弘・助教	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) 成人T細胞白血病に対する移植後シクロフォスファミドを用いた非血縁者間末梢幹細胞移植法の確立と移植後再発への対策に関する研究(研究代表者: 福田隆浩)

宮崎泰司・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) 時間軸を考慮した原爆被爆者骨髄異形成症候群発症機構の解明
宮崎泰司・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (A) 骨髄不全症候群における胚細胞変異および体細胞変異の解明に基づく新規治療薬開発 (研究代表者: 牧島秀樹)
安東恒史・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 骨髄異形成症候群におけるKMT2Dの役割の解明とそれに基づいた新規治療法の開発
佐藤信也・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 原爆被爆者に見られるクローン性造血の解析
糸永英弘・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 蛋白質メチル化酵素によるDNA修復機構を標的とした骨髄性腫瘍の新規治療法の開発

### 腫瘍・診断病理学研究分野 (原研病理)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
中島正洋・教授	日本学術振興会	代表	基礎研究 (C) 放射線誘発甲状腺発がん過程の網羅的分子病理解析: miRNAと変異シグネチャー
松田勝也・准教授	日本学術振興会	代表	基礎研究 (C) 甲状腺濾胞性腫瘍の術前細胞診断を可能とする53BP1発現型の定量解析
七條和子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 内部被ばくによる幹細胞損傷の分子病理学的Patho-マイクロドジメトリ解析
七條和子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 内部被ばくの分子病理学的影響検出と周辺細胞のPatho-マイクロドジメトリー解析
Mussazhanova Zhanna・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 甲状腺がん未分化転化に至る形態学的構造の分子病理学的in situ解析
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 乳癌における新規リンパ節転移診断キットの術前薬物療法症例への適応拡大
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 被ばく者癌における遺伝子変異シグネチャー解析
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 小児期放射線被曝による甲状腺機能への影響と障害メカニズムの解明
七條和子・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究 (A) カザフ旧ソ連核実験場周辺住民の放射線被曝と健康影響—新たな視点: 放射性粉塵—
Mussazhanova Zhanna・助教	日本学術振興会	代表	国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B)) 放射性 <sup>56</sup> Mn微粒子による内部被ばくの放射線障害作用とそのメカニズムの解明

## アイソトープ診断治療学分野（原研放射）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
工藤 崇・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究○ 患者フレンドリーな核医学検査のための情報技術利用の検証と開発

## 共同研究推進部

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
松山睦美・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 小児期放射線被曝による甲状腺機能への影響と障害メカニズムの解明

## 資料調査室（原研情報）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
横田賢一・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 長崎原爆の地形遮蔽による低線量被曝に関する疫学研究
横田賢一・助教	日本学術振興会	分担	国際共同研究加速基金 Genome-wide gene-environmental interaction analysis of exposures to radiation and nitrates as modifiers of the risk for thyroid cancer in the Chernobyl region